

【畑地帯総合整備事業 上郷角内地区】

基盤整備を契機とした担い手の育成と高収益作物の導入（茨城県つくば市）

体制・人材
づくり栽培作物
・方法

販売

販売経路の
確保

【工夫のポイント】

- 高収益作物（有機農業）の導入を可能とするほ場の大区画化、農道・排水施設の整備
- 担い手への農地集積・集約による経営規模の拡大
- 地区担い手により新規就農希望者を育成・支援し、地域農業の発展に寄与

基盤

基盤整備を契機とした農地集積・集約と計画的な生産体制の確立

- 区画整理や排水整備により、ほ場の生産性が大幅に向上するとともに、安定的な生産が可能に
- 農道整備や整備を契機とした担い手へ農地集積・集約化により大型機械の導入が可能となり、作業効率が大幅に向上



区画整理による大区画化

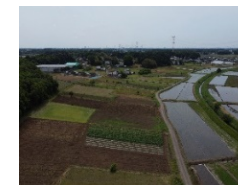


整備された農道、排水路

基盤整備
(R1年～)

【整備前】

- ほ場は狭小で不整形、道路は狭幅だったため、農作業に多大な労力を要していた
- 排水路が未整備のため排水不良に苦慮しており、不安定な営農を余儀なくされていた



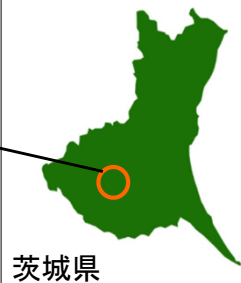
狭小で不整形なほ場



狭隘な道路

【取組地域の概要】

- 位置
茨城県 つくば市

かみごうかくない
上郷角内地区

茨城県

- 地区面積
21.3ha
(畑地 16.9ha、水田 4.4ha)

- 主要作物
じゃがいも、たまねぎ、さつまいも、えだまめ 等

- 主な支援施策
 - ・県営畑地帯総合整備事業(R1～)
 - ・経営体育成促進事業(R1～)
 - ・多面的機能支払交付金(R1～)

生産現場

基盤整備を契機にした高収益作物の導入



じゃがいも



たまねぎ

- 露地または施設栽培による高収益作物（有機農業含む）の導入が可能となり、安定した周年作付体系を確立

現 況

芝
そば

計 画

じゃがいも
たまねぎ
さつまいも
えだまめ
にんじん
はくさい

取組

担い手の育成支援と有機農業の導入拡大



ベベリーフ

- 地区内ほ場を中心に、担い手Aが新規就農者への実務研修など育成支援を行い、地域農業の発展に寄与
- 整備を契機に担い手Aが有機農業を拡大

農地の集積・集約化と担い手の経営規模拡大

- 耕作エリアを概ね6分割し、担い手毎のエリアを設定
- それを基に、換地原案時に地元で将来の賃借を調整
- この結果、6名の担い手への農地集積・集約化が円滑に進み、担い手の経営規模拡大が実現

担い手

<集積率>

整備前：5.4%

整備後：70.4%
(R6末)